

施行者：熊取町
 施行面積：6.14ha
 施行期間：昭和55～平成9年度
 総事業費：約1,734百万円
 減歩率：24.56%（公共24.56%）
 計画人口：約500人

都市計画決定：昭和54年2月21日
 事業計画認可：昭和55年7月9日
 仮換地指定：昭和57年7月20日
 換地処分：平成9年2月19日

本地区は、熊取町の西端にあって、大阪市の南玄関となる天王寺駅に約30分というJR阪和線熊取前に位置し、地区の北端は大阪外環状線に接した交通便の良好な地域である。また地区東側は町道向田長坂線、南側は町道大久保停車線に各々接している。

本事業は、町域全体の宅地開発により生じる人口増加、田園都市から住宅都市へと転換する町の変貌にそなえ、駅勢人口の増大による駅前整備に重点をおき広場の設置、街路の整備、交通機関の導入及び商業業務施設等の計画的な配置を計る等町の玄関口にふさわしい駅前整備が必要のため、これらの公共施設の整備改善並びに土地の利用増進を図ることを目的とする。

▼位置図



▼設計図



▼土地利用内訳

	施行前		施行後	
	面積 (ha)	割合 (%)	面積 (ha)	割合 (%)
公共用地	0.55	8.96	2.01	32.74
宅地	5.59	91.04	4.13	67.26
合計	6.14	100.00	6.14	100.00

▼航空写真（施行前:昭和50年）



▼航空写真（施行後：平成8年）

